

会議録	
名称	平成30年度9月富士見市図書館協議会
開催日時	平成30年9月8日（土）午前10時00分～12時00分
場所	中央図書館レセプションルーム
出席者	<p>○図書館協議会委員 渡辺志津子委員長　小森和雄委員（職務代理者） 木村多喜雄委員　佐藤千枝子委員 渋谷八重子委員　関根衣都美委員 野瀬武博委員　本間雄一委員 山崎美晴委員</p> <p>○教育委員会生涯学習課 鳥海課長　古川主査</p> <p>○図書館 原田中央館館長　清水副館長　神山マネージャー 長谷川鶴瀬西分館長 下川ふじみ野分館長</p> <p>○指定管理者 紀伊國屋書店公共図書館部　宮本　越智　青崎</p>
欠席者	長ヶ原美博委員
公開・非公開	公開
傍聴	なし
次第	<p>○報告・連絡事項 <input type="checkbox"/>平成30年6月～8月事業報告 （中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館） <input type="checkbox"/>その他</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館協議会9月定例会次第 ・平成30年6月～8月事業報告（中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館） ・『第3次子ども読書活動推進計画』 ・富士見市立図書館広報誌『さざなみだより』ほか
会議録確認	渡辺委員長
議事内容	
1 開会	神山マネージャー
2 委員長あいさつ	（渡辺志津子委員長）

3 各館からの事業報告

<中央図書館>

- ・資料に基づき報告。特にビブリオバトルのデモンストレーション、こわーいおはなし会、子ども司書講座、夏休み工作会について説明。

【質疑応答】

委員：大学生のインターンシップの受入とあるが、どういう経緯なのか。

図書館：富士見市立図書館でのインターンシップというより、紀伊國屋書店としての全国的なインターンシップの取り組みの一環である。

図書館：入館者数・利用者数・貸出冊数について。昨年度は（7月から）休館だったので、（7・8月は）一昨年度と比較するが、入館者数、利用者数、貸出冊数共に増となっている。

委員：入館者数と利用者数はどこをカウントしているのか。

図書館：入館者数は、正面出入口と公園出入口の人の出入りをカウントしている。利用者数は、来館し貸出時に利用カードをなぞった回数。貸出数は、借りた資料の数である。

生涯学習課：学校連携について。図書館に近い学校については、連携が進んでいるが、図書館から遠い学校については、まだまだ連携の余地があるのではないか。

図書館：現状としては、学校側からの依頼を受けてから動く形である。図書館側から働きかけは出来ていないが、図書館主催のイベントについては、学校にお知らせを配布している。学校司書や図書主任に図書館側から情報発信をしてはいるが、なかなか伝わらない部分もある。

生涯学習課：「第3次富士見市子ども読書活動推進計画」に盛り込まれているので、早めに進めて欲しい。

委員：前回の協議会において、図書館からの情報を受け取る側として、情報を敏感に受け取れる仕組みがあるとよいと話をした。早速、図書館からのお知らせだと分かりやすい形でチラシ等を受け取った。校長会でも話をして、図書館側からそういう情報が来るので、ちゃんと校長が目を通して図書担当に伝え、使える情報はすぐに周知するシステムを作ろうという話をした。

委員：円滑な情報共有のために、学校司書と図書主任とのメーリングリストを作るべきである。学校司書や図書主任は、ワンパーソンで動いているため大変である。レファレンスを受けて苦勞している方がかなりいる。

生涯学習課：担当課に伝える。

委員：学校司書は、自由にパソコンを使える環境にあるのか。

委員：個別のパソコンはないが、共有で使えるものはある。

<鶴瀬西分館>

- ・資料に基づき報告。特に10周年記念式典及び講演会、調べる学習ワークショップ、読書感想文ワークショップ、子ども科学講座について説明。
- ・今後の予定で、職場体験（富士見台中・勝瀬中）について説明。昨日行った職場体験ではブッカーかけも行った。
- ・学校司書と図書主任の研修に参加すると温度差がある。学校司書はとても熱心である。鶴瀬西分館に来館し、選書や除籍について相談されることもある。
- ・学校図書館は、読み物の比率が高くなって、調べ学習に対応できなくなっている。以前から提案しているが、学校図書館の蔵書と公共図書館の蔵書をうまく共有できるようにするとよいのではないか。

【質疑応答】

委員：ブッカーかけを、職場体験でやることはとても良い。実際やってみると空気が入ってしまったりする。

選書や除籍についても情報共有した方が良いし、子ども読書活動にも関係してくるので、各館で出来ること出来ないことを提示してください。

<ふじみ野分館>

- ・資料にも基づき報告。特にローズマリーのリース作り、ぬいぐるみおとまり会、ビブリオバトル、子ども科学講座について説明。

【質疑応答】

委員：ぬいぐるみおとまり会や科学講座の参加者について。人数は分かるが、男女比も分かると、どういう講座にどんな子が参加するかの参考になる。ぬいぐるみおとまり会には、どんなぬいぐるみが集まったか興味がある。水子貝塚資料館や難波田資料館でもお泊り会をやっているのので、参考にしたい。

図書館：ぬいぐるみおとまり会は、女の子が多いが、小さい子は男の子もいるので、3対2くらいの割合か。科学講座は男の子が多い。ぬいぐるみは、デイズニー等のアニメキャラクターが多かった。

委員：ぬいぐるみは幼児教育にとって重要である。自分の分身であったり、友達に見えたり、いろいろな関係性がある。保育園では、職員が手作りしたものを、1人1体渡して名前をつけている。子どもたちから、一緒にお風呂に入ったなどの話を聞く。図書館でこういう企画があるのは素敵だと思う。

4 その他

図書館：開館時間の試行について。平成27年度の図書館アンケートの早朝開館を望むご意見を元に、中央図書館では平成28年7月1日から、鶴瀬西

分館、ふじみ野分館では平成 30 年 4 月 1 日から開館時間を朝方に 30 分前倒しし、9 時開館を試行している。現在試行を 9 月末日までとしている。8 月実施の図書館アンケートにおいても、有効回答 445 件のうち継続希望が 284 件になっており、今後も継続し適切な時期に条例改正の上、恒久的に実施したい。

生涯学習課：現在、条例では 9 時半から 19 時までの運用となっている。朝の 9 時開館は、好評を得ているようだが、20 時までの開館についても、以前アンケートを取ったかもしれないが、市民の声を聞く等リサーチが必要ではないか。

図書館：19 時以降開館していても実績がなかった。図書館の立地上、周辺が暗くなり、利用者や職員の行き帰りが危険である。安全面で問題がある。9 時開館はほとんどノーコストで実施でき、サービスの向上になる。

委員：図書館アンケート実施前に、図書館と生涯学習課は、協議しているのか。

図書館：アンケート項目を確認いただいている。

委員：20 時までの開館については、来年度、アンケートを取ることにしてはどうか。

図書館：この図書館は I C タグが活用されていない。活用されれば、自動貸出や自動返却にも有効。遅い時間にしか予約本を取りに来られない利用者にも対応できる。

委員：9 時開館、結構である。19 時閉館でちょうど良い。

図書館：富士見市の場合、予約資料を受け取る場合は、22 時まで開館している公共施設で受け取る方が多い。仕事帰りに予約資料を受け取るなら、公共施設を利用できる。

図書館：新聞クリッピング作業の中止について。中央図書館では 1999 年以降下記の紙面に対し、富士見市関係の新聞記事をコピーし保存ファイルを作成、記事見出しを作成している。

1998 年～2002 年朝日・読売・毎日・日経・東京・産経の 6 紙の朝・夕刊と埼玉の朝刊。2003 年～2014 年朝日・読売・毎日・日経・東京の 5 紙の朝・夕刊と産経・埼玉の朝刊。2015 年～2017 年前記 7 紙の朝刊。2018 年 4 月から、朝日、毎日、読売、埼玉、4 紙朝刊に対し、記事の保存は行わず見出しリストを作成している。2019 年 3 月に平成 30 年分（2018 年 12 月末日発刊までのもの）の見出しリストを作成し、全ての作業の終了を予定している。

1998 年以降今日まで新聞記事の保存と見出し作成は人の手による作業につき、すべての富士見市関係の記事を網羅できているわけではなく保存漏れや間違いも多数存在する。富士見市でも、朝日新聞のデータベース「聞蔵Ⅱ」を導入、また県立のデータベースを活用するこ

とで、人の手よりも正確に網羅した新聞記事情報の入手・提供が可能な環境となったので、クリッピング作業は終了する。また、新聞記事のコピーを掲示することは、著作権法に違反する。

委員：今はデジタルデータの時代であるし、人の目で探すことは相当コストがかかっている。聞蔵Ⅱを導入するとコストが下がるので、他のサービスへ転換できる。利用者サービスが低下しないなら良いのではないか。

図書館：ふじみ野交流センターの空調工事に伴い、10月24日（水）から11月12日（月）まで、ふじみ野分館は臨時休館となる。

5 次回の開催日時について

- ・平成30年12月1日（土）、8日（土）のいずれかで調整。
→調整後、12月8日（土）に決定
- ・開催通知の際に、「第3次富士見市子ども読書活動推進計画」の中で、実施出来ること出来ないことを図書館、各委員が中央図書館に伝え、次回の協議会で取り上げる。

6 閉会（渡辺委員長）